

学生確保の見通し等を記載した書類

1 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し

① 定員充足の見込み

薬学部では、薬学系大学における人材養成の方向性及び現在の北海道薬科大学の入学志願者状況、病院や薬局等をはじめとする各事業所等を対象とした人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的や卒業者への採用意向に関する調査結果による数値などを踏まえるとともに、北海道内における薬学系大学の設置状況及び北海道内に所在する高等学校の在校生に対する進学需要調査の結果による数値などを総合的に勘案したうえで、入学定員を180人とすることから、十分な定員充足を見込むことができるものと考えている。

② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

ア 北海道内の薬学系学部の設置状況

北海道内における薬学系学部（6年制）を設置している大学は、平成29年4月現在、北海道薬科大学、北海道大学、北海道医療大学の3大学で、この3大学の学部（6年制）の入学定員の合計は400人となっている。また、最近4年間の北海道薬科大学、北海道大学、北海道医療大学の薬学系学部（6年制）の定員充足率の平均についてみると、平成25年度は110.0%、平成26年度は108.0%、平成27年度は106.3%、平成28年度は100.5%となっており、安定した定員の充足状況を維持している。また、最近4年の志願倍率は、平成25年度は7.8倍、平成26年度は8.1倍、平成27年度は8.7倍、平成28年度は7.4倍と推移していることから、北海道科学大学の薬学部薬学科を設置した場合においても、十分な定員充足の見通しがあるものと考えられる（資料1：北海道内の薬学系大学・大学院の設置状況並びに定員充足状況）。

なお、設置する北海道科学大学の薬学部薬学科の入学定員については、現在の北海道薬科大学の薬学部薬学科の210人から30人を減じた180人とするとしている。

イ 現在の北海道薬科大学薬学部の入学志願者状況

現在の北海道薬科大学の薬学部薬学科における最近５年間の入学志願者数等の実績については、平成２４年度の志願者数は７８１人、志願倍率は３．７２倍、平成２５年度の志願者数は１，０１７人、志願倍率は４．８４倍、平成２６年度の志願者数は１，０９５人、志願倍率は５．２１倍、平成２７年度の志願者数は１，２７０人、志願倍率は６．０５倍、平成２８年度の志願者数は１，００８人、志願倍率は４．８０倍となっており、安定した志願者数と志願倍率を維持している（資料２：現在の北海道薬科大学における過去５年間の入試状況）。

ウ 高等学校に対する進学需要調査結果

北海道科学大学の薬学部薬学科の設置計画を策定するにあたり、学生確保の見通しを計量的な数値から検証することを目的として、北海道内に所在する高等学校の在校生（開設年度の受験対象者である現２年生）を対象として、北海道科学大学の薬学部における教育研究上の目的及び受験意向や進学意向に関するアンケート調査を実施した。

その結果、北海道科学大学の薬学部薬学科への興味については、「とても興味を持った」と回答した者は、有効回答者数４，３５９人の６．８％にあたる２９７人、「ある程度興味をもった」と回答した者は、４１．７％にあたる１，８１９人となっており、「とても興味を持った」と回答した者と「ある程度興味をもった」と回答した者を合わせると、４８．５％にあたる２，１１６人となり、北海道科学大学の薬学部薬学科への興味の高さを伺うことができる。

一方、北海道科学大学の薬学部薬学科への進学意向については、北海道科学大学の薬学部薬学科を「受験したいと思う」と回答した者は、有効回答者数４，３９１人の１１．２％にあたる４９２人となっており、また、「受験したいと思う」と回答した４９２人の８６．８％にあたる４２７人が北海道科学大学の薬学部薬学科に「入学したいと思う」と回答している。

このような、北海道内に所在する一部の高等学校の在校生に限定した調査においても北海道科学大学の薬学部薬学科への進学意向がうかがえることから、学生確保においては十分な見通しがあると考えられる（資料３：薬学部進学需要調査（高校生）集計表）。

③ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金については、大学の運営に係る財務的な視点と学生納付金の学生への還元など受益者に対する説明責任の観点を踏まえるとともに、現在の北海道薬科大学の学生納付金（入学金20万円、初年度授業料150万円、2年次以降授業料190万円）及び私立大学の北海道医療大学の学生納付金（入学金30万円、初年度授業料160万円、2年時以降授業料190万円）を参考にしたうえで、完成年度における教育研究経費比率や経常経費依存率を見極めつつ、大学の運営上における人件費及び教育研究や管理運営に係る経常経費等の財務予測による実質的な採算分岐点に基づく金額（入学金20万円、初年度授業料150万円、2年次以降授業料190万円）として設定している。

（２）学生確保に向けた具体的な取組状況

① 学生確保に向けた取組方針

新設学部の広報活動については、設置認可申請中であることを考慮し、平成27年度に移転した前田キャンパスの施設の充実及び教育内容等を周知することに努め、設置認可後は試験制度等を含めた総合的な募集広報活動を集中的に行う。

設置認可申請前は新設学部設置の目的、趣旨等を高等学校及び新設学部への志願が期待される高校生に広く広報し、設置認可申請中は新設学部設置の進捗状況に関する情報を継続的に提供し続け、設置認可後は入学試験制度等の周知を積極的に行い、学生確保に努めることとする。

② 学生確保に向けた取組状況

学生確保に向けた取組状況としては、学部・学科の教育内容や本学の学生支援体制を紹介する入学案内書を作成し、入学希望者に配付するとともにホームページなど、多数のメディア媒体を使用したPR活動を行う。

また、直接的な学生募集広報としては、北海道内を中心とした高校訪問や進学相談会などを通じて高校教諭及び入学希望者に対して積極的な情報提供を行うこととしている。

さらにオープンキャンパス等においても進学希望者に対して、設置する北海道科学大学の薬学部薬学科における学位授与方針・教育課程編成の方針・入学者の受入方針をはじめとする様々な教育情報について、広報することとしている（資

料4：学生確保に向けた具体的な取組内容）。

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

設置する薬学部薬学科は、これまで現在の北海道薬科大学が果たしてきた北海道における役割を継承し、医療人としての高い倫理観と豊かな人間性を備え、薬剤師として相応しい基本的な資質や能力を身に付け、科学的・論理的思考力と創造性を有し、薬学領域の基礎研究や臨床研究を実施できる人材を育成することを目的として、地域社会の保健・医療・福祉に貢献するとともに、薬学分野の進展に寄与することとする。

① 人材養成の目的

「薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成25年度改訂版）」において規定されている薬剤師として求められる基本的な10の資質を踏まえ、人材養成の目的を「社会生活を送るうえで必要となる知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、創造的思考力の習得のもとに、薬学分野に関する基礎的な知識及び基本的な技術と態度を基盤とし、豊かな人間性と医療人としての高い使命感を有し、生命の尊さを深く認識し、生涯にわたって薬の責任者としての自覚をもち、人の命と健康な生活を守るとともに、他の医療関係職種と連携・協働して、地域社会の保健・医療・福祉の向上に寄与する次のような人材を養成する」と定める。

ア 薬剤師の責務及び法令を遵守し、人の命と健康を守る使命感、責任感及び倫理観を有する人材

イ 患者の権利を尊重し、常に患者と家族・生活者の立場に立って、行動することができる人材

ウ 患者・生活者、他職種から情報を収集し、有益かつ適切な情報として発信するコミュニケーション能力を有する人材

エ 医療チームに参画し、相互の尊重のもとに責任ある行動を適切にとることができる人材

オ 生体及び環境に対する医薬品・化学物質等の影響を理解するために必要な科学的知識を有する人材

カ 薬物療法を主体的に計画、実施、評価し、薬学的管理のもとで安全で有効な医薬品の適正使用を推進できる人材

キ 地域の保健、医療、福祉、介護及び行政等と連携して、国民の健康増進、公衆衛生の向上に貢献する人材

ク 薬学・医療の進歩に資するために、研究を遂行する意欲と問題発見・解決能力を有する人材

ケ 薬学・医療の進歩に対応するために、医療に関わる社会的動向を把握し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する人材

コ 次世代の薬剤師を育成する意欲と態度を有する人材

② 卒業時の到達目標

教育における「質」は、かつて「とびぬけた、あるいは、卓越した能力」を意味していたが、現在では、「目的に適合していること」との解釈（“Quality and Internationalization in Higher Education”，D. Woodhouse，OECD，1999）の下、各大学は自らの使命・目的を表明し、これに適った学生を輩出していることを証明することによって教育の質保証がなされるという考え方が広く世界的に受け入れられている。このような潮流において、平成17年の中央教育審議会による「我が国の高等教育の将来像」答申以降、国内の大学は機能別分化による個性、特色の明確化を強く求められている。すなわち、高等教育がユニバーサル・アクセスの段階に達したとの認識のもと、今後は、分野や水準の面においても、誰もがいつでも自らの選択で学ぶことのできる高等教育の整備が重要な課題とされ、多様化した学習者の様々な需要に的確に対応するため、個性・特色を一層明確化することが求められている。一方、「学士課程教育の構築に向けて」（平成20年3月25日 中央教育審議会大学分科会制度・教育部会）では「我が国の高等教育の将来像（答申）」で強調された大学の個性化・特色化に伴う教育の多様性と、国際通用性等の観点から要請される教育の標準性の調和の重要性に言及されている。さらに、4項目にわたる喫緊の課題の中で、我が国の学士課程教育の使命として知識基盤社会を支える「21世紀型市民」の養成を掲げている。そのうえで、分野横断的に学士課程教育が共通して目指す学習成果を「学士力」とし、分野別の質保証の枠組みとともに、学位授与の方針の策定に際しての参考指針とするよう求めている。

この分野別の質保証の取り組みとして、薬剤師の養成を目的とする6年制の薬学教育に関しては、薬学系人材養成の在り方に関する検討会によって、「薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成25年度改訂版）」が策定され、6年制の学部・学科としての教育内容が精選され、卒業時までに学生が身に付けておくべき必須の能力の到達目標が提示されている。

現在の北海道薬科大学では、平成27年度よりこの改訂版モデル・コアカリキュラムに準拠した新カリキュラムを導入し、薬剤師に求められる10の資質を基本とする人材像を掲げ、これを達成すべく教育が展開されている。設置する薬学部薬学科においては、これまで北海道薬科大学が輩出してきた、豊かな人間性と高い臨床能力を有する薬剤師の育成という人材養成機能を引き継ぎ、なおかつ学士力を中心とした「21世紀型市民」に相応しい資質・能力を併せ持ち、北海道を中心とした地域医療に貢献する質の高い薬剤師の養成を目指し、教育の不断の改革・改善に努める。このような改善サイクルの起点として、以下のように卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を次のとおり定めることとする。

<薬学科ディプロマ・ポリシー>

薬学科は、「科学的市民」の育成という教育理念のもとに以下の資質や能力を身につけ、所定の授業科目を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に、学士（薬学）の学位を授与します。

- 1 患者・生活者や他の医療関係職種と適切なコミュニケーションを取れる態度・能力を有している。
- 2 問題発見・解決能力のために必要な、多面的に物事を見る力、論理的思考力、情報分析力を有している。
- 3 生涯にわたって研究研修・研鑽を継続するとともに、医療を担う次世代の人材を育成する意欲と態度を有している。
- 4 他の医療関係職種と連携・協力して地域住民の健康増進、公衆衛生に貢献できる能力を有している。
- 5 基盤能力とともに薬剤師に必要な知識・技能・態度を修得し、適切な薬物療法や薬学的管理を実践できる能力を有している。
- 6 豊かな人間性ととともに、基盤能力と専門性を併せ持ち、専門職としての役

割を主体的に果たすことができる。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

① 関係団体等からの要望

北海道薬剤師会では、北海道科学大学が薬学部薬学科を設置することは、「既設の保健医療学部の多様な医療専門職を目指す学生とともに、より実践的なチーム医療を学ぶ環境を整えることとなり、大変有意義である」としており、「豊かな人間性と医療人としての高い使命感を有し、人の命と健康な生活を守るとともに、多様な医療専門職と協働し、地域社会の保健・医療・福祉の向上に寄与する薬剤師の養成は、北海道の地域医療の推進に寄与するものである」として薬学部薬学科の設置に対する推薦書が提出されている。また、北海道病院薬剤師会では、北海道内の人口10万人当たりの薬剤師数が全国平均を下回っていることから、北海道科学大学が薬学部薬学科を設置することは、薬剤師が不足している地域の薬剤師の確保につながることとなり、大変有意義である」としており、「患者への適切な医薬品情報の提供や病棟での薬剤管理指導など、高度化・多様化する薬剤師業務に的確に対応できる薬剤師の養成は、北海道の地域医療の推進に寄与するものである」として薬学部薬学科の設置に対する推薦書が提出されている(資料5：関係団体の要望書)。

このことから、設置する北海道科学大学の薬学部薬学科の設置及び人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、社会的、地域的な人材需要の動向等社会の要請を踏まえているといえる。

② 既設学部の求人状況及び就職状況

現在の北海道薬科大学の薬学部薬学科における最近5年間の求人件数の実績は、平成23年度は就職希望者135人に対して求人人数2,287人、求人倍率は16.9倍、平成24年度は就職希望者141人に対して求人人数2,348人、求人倍率は16.7倍、平成25年度は就職希望者106人に対して求人人数2,447人、求人倍率は23.1倍、平成26年度は就職希望者86人に対して求人人数2,219人、求人倍率は25.8倍、平成27年度は就職希望者109人に対して求人人数2,119人、求人倍率は19.4倍となっている。

また、現在の北海道薬科大学の薬学部薬学科における最近５年間の就職率の実績は、平成２３年度は就職希望者１３５人に対して就職者数１３４人、就職率は９９．３％、平成２４年度は就職希望者１４１人に対して就職者数１３９人、就職率は９８．６％、平成２５年度は就職希望者１０６人に対して就職者数１０６人、就職率は１００．０％、平成２６年度は就職希望者８６人に対して就職者数８４人、就職率は９７．７％、平成２７年度は就職希望者１０９人に対して就職者数１０９人、就職率は１００．０％となっており、昨今の就職難の状況下においても大きな影響を受けることなく、高い就職率で推移している。

このように、多数の求人人数を得ていること及び高い就職率を維持していることは、薬学部における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることを示しているものであり、今般、設置する北海道科学大学の薬学部薬学科における就職先の確保についても十分に見込めるものとする（資料６：現在の北海道薬科大学における過去５年間の就職状況）。

③ 医療現場等からの要請

北海道科学大学の薬学部薬学科の設置計画を進めるうえで、薬学部薬学科の設置及び教育研究上の目的や養成する人材が地域的な需要の動向等を踏まえたものであることについて検証するために、病院や薬局等をはじめとする各事業所等に対して、北海道科学大学の薬学部薬学科における教育研究上の目的と養成する人材や設置の必要性及び卒業生に対する採用意向等に関するアンケート調査を実施した。

その結果、北海道科学大学の薬学部薬学科を設置することの社会的な必要性については、有効回答件数３７２件の９７．０％にあたる３６１事業所等が「必要だと思う」と回答しているとともに、北海道科学大学の薬学部薬学科の卒業生に対する採用意向については、有効回答件数３７４件の９８．１％にあたる３６７事業所等が「採用したいと思う」と回答しており、北海道科学大学の薬学部薬学科の卒業生の採用に積極的な意向を示している。

なお、北海道科学大学の薬学部薬学科の卒業生を「採用したいと思う」と回答した事業所等の属性をみると、「病院」が１６０件、「薬局・ドラッグストア」が１６６件となっており、さらに、「採用したいと思う」と回答した事業所等の毎年

の採用予定人数を合計すると627人となることから、卒業後の進路については、十分な見通しがあるものと考えられる（資料7：薬学部人材需要調査（事業所）集計表）。

(資料 1) 北海道内の薬学系大学・大学院の
設置状況並びに定員充足状況

北海道内の薬学系大学・大学院の設置状況並びに定員充足状況

1. 北海道内の薬学系大学の設置状況・定員充足状況

設置区分	大学	学部	学科	入学定員 ※1				入学者数 ※1				入学定員充足率			
				H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
国立	北海道大学	薬	薬	30	30	30	30	25	24	24	23	83.3	80.0	80.0	76.7
私立	北海道医療大学	薬	薬	160	160	160	160	186	176	175	169	116.3	110.0	109.4	105.6
私立	北海道薬科大学	薬	薬	210	210	210	210	229	232	226	210	109.0	110.5	107.6	100.0
国私立合計				400	400	400	400	440	432	425	402	110.0	108.0	106.3	100.5
私立合計				370	370	370	370	415	408	401	379	112.2	110.3	108.4	102.4

設置区分	大学	学部	学科	募集人員 ※3				志願者数 ※2、※3				志願倍率			
				H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
国立	北海道大学	薬	薬	24	24	24	24	298	280	271	231	12.4	11.7	11.3	9.6
私立	北海道医療大学	薬	薬	135	135	135	132	1,018	1,052	1,007	847	7.5	7.8	7.5	6.4
私立	北海道薬科大学	薬	薬	127	127	117	117	928	994	1,134	929	7.3	7.8	9.7	7.9
国私立合計				286	286	276	273	2,244	2,326	2,412	2,007	7.8	8.1	8.7	7.4
私立合計				262	262	252	249	1,946	2,046	2,141	1,776	7.4	7.8	8.5	7.1

※1 入学定員、入学者数は、各大学ホームページを参照して記載。

※2 志願者数は、(株)ベネッセコーポレーションのデータを使用して記載。

※3 募集人員及び志願者数には、指定校推薦・系列校推薦・同窓生子女推薦の数値が含まれていない。

※北海道大学の総合系入試を除いて集計。

2. 北海道内の薬学系大学院の設置状況・定員充足状況

北海道内における薬学系大学院の入学定員充足状況を示す算出データは、入学者数の一部が薬学系以外の専攻と合算されていることから、3つの大学院の収容定員を合算した充足状況としている。

設置区分	大学院名	研究科	専攻	入学定員	H26入学者数	H27入学者数	H28入学者数	収容定員	H26.5月在籍者数	H27.5月在籍者数	H28.5月在籍者数
国立	北海道大学大学院	生命科学学院	臨床薬学	4	35 ※1	29 ※1	31 ※1	16	14	20	24
私立	北海道医療大学大学院	薬学	薬学	3	4	4	0	12	9	12	11
私立	北海道薬科大学大学院	薬学	臨床薬学	3	2	1	3	12	5	6	6
国私立合計				10	— ※2	— ※2	— ※2	40	28	38	41
				入学定員充足率	— ※2	— ※2	— ※2	収容定員充足率	70.0%	95.0%	102.5%

※1 北海道大学大学院生命科学学院臨床薬学専攻の入学者数には、「生命科学専攻」の入学者が含まれている。

※2 入学者数計と入学定員充足率は、北海道大学大学院生命科学学院の入学者数が合算のため算出不可。

(資料 2) 現在の北海道薬科大学における
過去 5 年間の入試状況

現在の北海道薬科大学における過去5年間の入試状況

項目	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
入学定員(A)	210	210	210	210	210
志願者(B)	781	1017	1095	1270	1008
志願倍率(B/A)	3.72	4.84	5.21	6.05	4.80
合格者	449	483	452	408	608
入学定員(A)	210	210	210	210	210
入学者	228	229	232	226	210
入学定員充足率	108.6%	109.0%	110.5%	107.6%	100.0%

(資料3) 薬学部進学需要調査（高校生）集計表

- ・ 薬学部進学需要調査（高校生）集計表
- ・ 北海道科学大学薬学部薬学科
（仮称、設置構想中）に関するアンケート
- ・ 薬学部薬学科概要説明資料

薬学部進学需要調査(高校生)集計表

このアンケートは北海道科学大学のアンケート調査項目のうち、受験意向に関連した質問の一部を抜粋したものである。

Q4.あなたは、北海道科学大学「薬学部 薬学科」(仮称、設置構想中)に、どの程度興味をもちましたか。

評価	有効回答件数	興味を持った・			あまり興味をもたなかった	まったく興味をもたなかった	無回答	調査数
		計	とても興味をもった	ある程度興味をもった				
実数	4,359	2,116	297	1,819	1,437	806	137	4,496
%	100.0	48.5	6.8	41.7	33.0	18.5	—	—

Q5.あなたは、北海道科学大学「薬学部 薬学科」(仮称・設置構想中)を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方をお選びください。

調 査 数	無 回 答	受 験 し た い と 思 わ な い	受 験 し た い と 思 う	有 効 回 答 件 数	評 価
4,496	105	3,899	492	4,391	実数
—	—	88.8	11.2	100.0	%

Q6.あなたは、北海道科学大学「薬学部 薬学科」(仮称、設置構想中)を受験して合格したら、入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方をお選びください。

調 査 数	無 回 答	入 学 し た い と 思 わ な い	入 学 し た い と 思 う	有 効 回 答 件 数	評 価
492	0	65	427	492	実数
—	—	13.2	86.8	100.0	%

「薬学部 薬学科」の受験意向別入学意向

※1 「受験意向(Q5)」と「入学意向(Q6)」をかけあわせて集計(母数は全回答者)

※2 「入学したいと思う」「入学したいと思わない」の数値は、「受験したいと思う」と回答した492人を分母として集計

評価	有効回答件数	受験したいと思 う	受験した 入 学 思 う※ 2		受験 した 思 わ ない と 思	無回答	調査数
			入 学 思 う※ 2	入 学 思 わ ない※ 2			
実数	4,391	492	427	65	3,899	105	4,496
%	100.0	11.2	86.8	13.2	88.8	0.0	—

北海道科学大学 薬学部 薬学科（仮称、設置構想中）に関するアンケート

北海道科学大学では2018年(平成30年)4月より、「**薬学部 薬学科**」(仮称)を新設することを構想しています。
 ※ 北海道薬科大学の現在の教育内容を継承し、北海道科学大学と統合することで
 新たに北海道科学大学「薬学部 薬学科」(仮称、設置構想中)になります。

このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、北海道科学大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。
 このアンケートで得られた情報は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
 つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ アンケートや別添の資料(リーフレット)に記載されている北海道科学大学に関する事項は
 すべて予定であり内容は変わる可能性があります。

記入の方法

1. 回答は、あてはまる項目の□枠に✓をつけてください。
2. この用紙は、電算処理しますので、汚さないようにしてください。
3. 記入にあたっては、必ず鉛筆またはシャープペンシルで濃く書いてください。
4. 質問により、1つだけ答えるものと、複数答えるものがあります。
5. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。

【記入例】

Q. あなたは、どのような学部に興味がありますか。(いくつでも)

良い
記入例

☒ 文学

☐ 法学

☐ 社会学

悪い
記入例

☐ 文学

☐ 法学

☒ 社会学

☐ 語学

☒ 国際関係

☒ 語学

☐ 国際関係

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別 (1つだけ)	☐ 男性 ☐ 女性	学年 (1つだけ)	☐ 高校2年生 ☐ その他
在籍している 高校名	高校所在地 []		☐ 都 ☐ 道 ☐ 府 ☐ 県 (←1つだけ)
	☐ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 (←1つだけ) [] 高等学校		
所属クラス (1つだけ)	☐ 文系クラス (文系コース)		☐ コース選択はない
	☐ 理系クラス (理系コース)		☐ その他

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
 以下の項目から、あてはまるものすべてをお選びください。(いくつでも)

- | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|------------------------------|
| ☐ 国公立大学に進学 | ☐ 短期大学に進学 | ☐ 就職 |
| ☐ 私立大学に進学 | ☐ 専門学校・専修学校に進学 | ☐ その他 |

Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。
 以下の項目から、興味のある学問系統すべてをお選びください。(いくつでも)
 (現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)

- | | | |
|---|--------------------------------------|--|
| ☐ 薬学 | ☐ 工学 | ☐ 国際関係学 |
| ☐ 医・歯学 | ☐ 農・水産学 | ☐ 教員養成・教育学 |
| ☐ 看護学 | ☐ 文学・語学 | ☐ 生活科学 |
| ☐ リハビリテーション学(理学療法など含む) | (心理学、考古学、地理学、
歴史学、哲学、言語学など含む) | (食物・栄養学、被服学、
児童学など含む) |
| ☐ 医療技術学(診療放射線学など含む) | ☐ 法学(政治学など含む) | ☐ 芸術学(美術・デザイン、音楽など含む) |
| ☐ 保健学、体育・健康科学 | ☐ 経済・経営・商学 | ☐ その他 |
| ☐ 理学 | ☐ 社会学 | ☐ まだ決めていない |

◆北海道科学大学についてお聞きします。

北海道科学大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2018年(平成30年)4月に、新しく「薬学部 薬学科」(仮称)を設置することを構想しています。

※ 北海道薬科大学の現在の教育内容を継承し、北海道科学大学と統合することで新たに北海道科学大学「薬学部 薬学科」(仮称、設置構想中)になります。

- Q3. 北海道科学大学「薬学部 薬学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまるものを1つだけ)

			とても 魅力 を感じる	ある程度 魅力 を感じる	あまり 魅力 を感じない	まったく 魅力 を感じない
例.	〇〇を養成します。	→	☐	☒	☐	☐
A.	地域社会の健康を支える薬剤師の養成 患者のQOL向上・改善のための「ファーマシューティカル・ケア」を実践でき、地域社会の健康を支える薬剤師を養成します。	→	☐	☐	☐	☐
B.	しっかりとした基礎固め 1年次に化学、生物、物理、数学などの基礎科目について、高等学校で未履修の学生や苦手としている学生を対象に補習を行い、基礎となる知識をしっかりと身につけます。	→	☐	☐	☐	☐
C.	実務に強い教員が充実 実務に直結した教育を幅広く行うため、薬剤師としての実務経験を持つ教員が指導します。教員が現場で得た生きた知識・経験を、講義や実習を通して学びます。	→	☐	☐	☐	☐
D.	実践型のカリキュラム 知識・技能・態度の教育を相互に関連づけたカリキュラムで、実践的能力を高めます。これからの薬剤師に求められる問題発掘・解決能力を身につけます。	→	☐	☐	☐	☐
E.	高度で実践的な専門教育のための学修施設・設備 模擬薬局やシミュレーター室、無菌注射剤調製室など、高い実践力を養成する実習室がそろっています。	→	☐	☐	☐	☐

- Q4. あなたは、北海道科学大学「薬学部 薬学科」(仮称、設置構想中)に、どの程度興味をもちましたか。(1つだけ)

- ☐ とても興味をもった
 ☐ あまり興味をもたなかった
☐ ある程度興味をもった
 ☐ まったく興味をもたなかった

- Q5. あなたは、北海道科学大学「薬学部 薬学科」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方をお選びください。(1つだけ)

- ☐ 受験したいと思う
 ☐ 受験したいと思わない

- Q6. あなたは北海道科学大学「薬学部 薬学科」(仮称、設置構想中)を受験して合格したら、入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方をお選びください。(1つだけ)

- ☐ 入学したいと思う
 ☐ 入学したいと思わない

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。***



©KAZUMA MORINO

北海道科学大学 薬学部 薬学科〈仮称〉

入学定員

180名（予定）

2018年4月開設予定（設置構想中）

本学部・学科の設置構想は全て予定であり、今後、変更になる可能性があります。



北海道科学大学

北海道科学大学短期大学部

+Professional

北海道科学大学は2018年4月、北海道薬科大学と統合し 「薬学部薬学科〈仮称〉」の新設を構想しています。

高齢化などで社会構造が激変する現代、薬剤師は地域ぐるみの医療を担う重要な存在です。

本学では、実学系総合大学としての幅広い教育体制構築と、より一層の教育環境の充実のため

同一法人設置校である北海道薬科大学と統合し、新たに「薬学部薬学科〈仮称〉」の開設を構想中です。

「薬学部薬学科〈仮称〉」では、北海道薬科大学の伝統と実績を生かし、地域社会の健康を支える薬剤師の養成を図ります。

これにより本学は、医療と工学、医療と社会科学の連携を強化するとともに、専門性と総合的な視点を生かして社会に貢献する人材のさらなる育成をめざします。



薬学科の主なカリキュラム

北海道薬科大学の教育課程を継承し、薬剤師養成のために国が定める薬学教育モデル・コアカリキュラムに加え、本学独自の科目を開設し、薬剤師としての実践力をより高めます。

1年次【基礎】

医療人になるための基礎固めを行う

- 薬学生入門
- 情報処理法
- 薬学概論
- 早期臨床体験実習
- 薬学計算I・II
- 生化学I・II
- 有機化学I
- 立体構造化学
- 機能形態学I・II
- 無機化学
- 薬学基礎実習I
- 英語I・II
- 基礎数学
- 基礎物理学
- 基礎分析法
- 自然科学概論

2年次【専門基礎】

薬剤師をめざすために必要な基礎知識を学ぶ

- 医療倫理学
- 介護福祉体験実習
- 生化学III～V
- 分子生物学・遺伝子工学
- 薬品分析化学
- 機器分析学I・II
- 有機化学II～IV
- 機能形態学III・IV
- 免疫学
- 薬学基礎実習II
- 食品衛生学
- 生物薬剤学I・II
- 医療英語I・II

地域社会の健康を、 薬学の視点から支える人材を 育成します。

患者さんのQOL*向上・改善のための「ファーマシューティカル・ケア」を実践できる薬剤師の養成が、本学部の教育理念です。薬剤師の使命は、一人ひとりの患者さんの役に立つこと、そして地域の健康を支える医療人となることです。その実現のため、将来の医療を見据えた独自性あるカリキュラムに基づき、薬学の視点から判断し行動できる薬剤師を育てます。

*QOLとは Quality Of Life の略で、日本語では「生活の質」と訳される。

修業年限

6年

学位

学士(薬学)

取得可能な資格(予定)

薬剤師国家試験受験資格

学部 の 特 色

1 しっかりとした 基礎固め

本格的な薬学の学びが始まる前に、1年次に化学、生物、物理、数学などの基礎科目について、高等学校で未履修の学生や苦手としている学生を対象に補習を行い、知識の基礎固めをサポートします。

2 実務に強い 教員が充実

実務に直結した教育を幅広く行うため、薬剤師としての実務経験を持つ17名の臨床系教員を配置する予定です。学生は、教員が現場で得た生きた知識・経験を、講義や実習を通して学ぶことができます。

3 実践型の カリキュラム

知識・技能・態度の教育を相互に関連づけたカリキュラムで、実践的能力を高めます。このカリキュラムで6年間学ぶことにより、これからの薬剤師に求められる問題発掘・解決能力を身につけます。

卒業後の 進路例

病院

医師・看護師などと連携するチーム医療を通じて、治療に貢献します。



薬局

ドラッグストア

身近な薬の専門家として、地域住民の健康をサポートします。



製薬企業

医療品卸

CRO(開発業務受託機関)

医療現場への医薬品情報の提供や、新薬開発に関わる業務があります。



大学院 薬学研究科

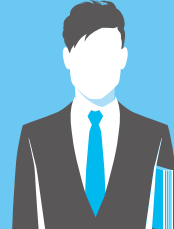
(設置構想中)

医療薬学・臨床薬学の研究を深め、地域医療の発展に寄与します。



公務員

麻薬取締官や保健所、科学捜査研究所などで専門知識を生かします。



3年次【薬の適正使用】

薬の適正使用に 必要な基礎知識を学ぶ

- 毒性学I・II
- 公衆衛生学I・II
- 環境科学I・II
- 衛生・医療薬学実習
- 薬物動態学I・II
- 製剤学I・II
- 薬理・医薬化学概論
- 薬と疾病
- 臨床薬学I～III
- 臨床薬学実習I
- 薬学英语
- サプリメント概論
- 薬局管理学
- 社会保障論
- 医療マネジメント概論

4年次【臨床への基礎】

臨床での薬剤師業務に 直結する知識を習得する

- 地域医療薬学
- 薬事関連法制論I・II
- 薬と疾病
- 栄養療法学
- 臨床推論
- 漢方医薬学
- 臨床薬学実習II～V
- 卒業研究
- 総合演習I

5年次【実務実習】

臨床の現場を体験する 病院・薬局実習が開始

- エデュケーションスキル
- 実務実習
- 卒業研究

6年次【総仕上げ】

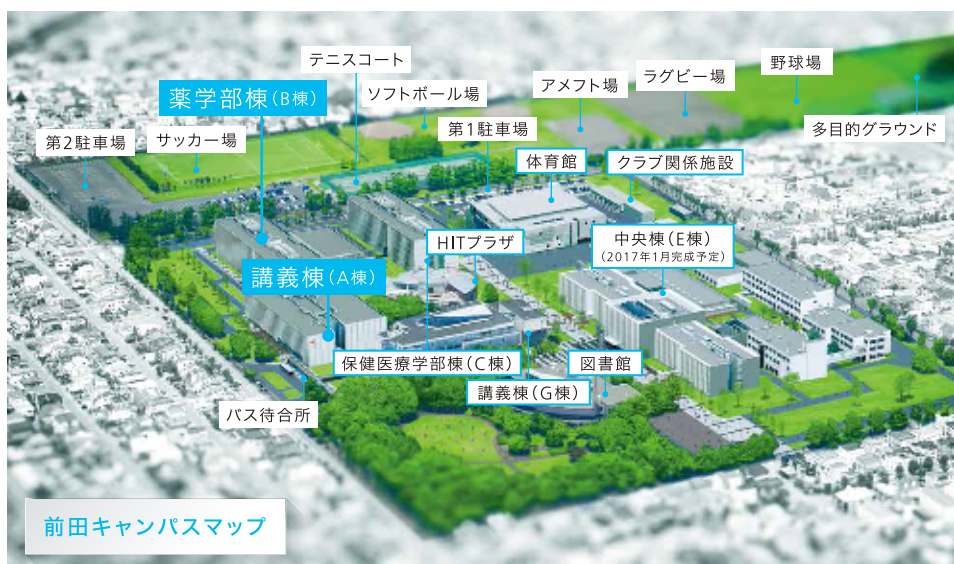
問題発掘・解決能力の 高い薬剤師をめざす

- 臨床薬学総論
- アドバンスト演習
- 卒業研究
- 総合演習II

※薬学部薬学科(仮称)の設置構想は全て予定であり、今後、変更になる可能性があります。

5,000人規模の学生が集う、新しく先進的なキャンパスです。

大学の最寄り駅、JR手稲駅からは札幌駅まで快速で約10分です。通学しやすく自然豊かなキャンパスには、2014年に完成した講義棟(A棟)・薬学部棟(B棟)をはじめ、図書館や体育館、食堂・喫茶コーナー、学生用駐車場など、学生生活を有意義かつ快適に過ごせるさまざまな施設がそろっています。また、他学部のたくさんの学生と交流し、情報交換ができることも、総合大学ならではの魅力。新しい出会いが待っているキャンパスです。



[2015～2020年の完成予想図] ※計画中のため、変更する場合があります。

2014年に完成した新しい校舎には、時代に即した薬剤師を養成する高度で実践的な専門教育のための、質の高い学修施設・設備が充実しています。



講義棟[A棟]

講義室のほか、学生食堂やコンビニエンスストア、ATMなど、快適な学生生活を支える施設も充実しています。



薬学部棟[B棟]

模擬薬局やシミュレーター室、無菌注射剤調製室など、高い実践力を養成する実習室がそろっています。



学習室(ラーニング・commons)

自由に利用できる学習室と、4～6年生用のセミナー室があり、自発的な学修姿勢の向上をサポートします。



模擬薬局

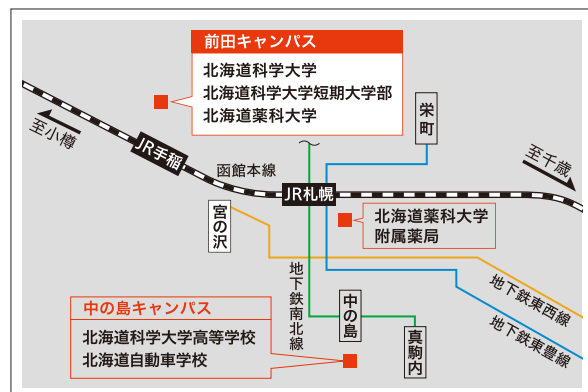
調剤薬局の店舗をリアルに体感できる場です。調剤業務や服薬指導などの統合的な業務を、効果的に学べます。

学費について

初年度学費納付金(予定)

入学金	200,000円	授業料	1,500,000円 ※授業料には実習費が含まれています。	年 額	1,700,000円
-----	----------	-----	-------------------------------	-----	------------

※学費は予定であり、今後変更になる場合があります。



JR手稲駅から

- バス 約9分(北口、JRバス)
- JRバス 科学大学線【循環手48】
- JRバス 明日風線【手85】
- タクシー 約5分
- 徒歩 約25分

地下鉄宮の沢駅から

- バス 約25分(JRバス)
- JRバス 新発寒線【宮79・宮79-1】

札幌近郊からJRでのアクセス

- 近郊駅からJR手稲駅までの所要時間(快速)
- 札幌駅～ 約10分(44本/日)
- 小樽駅～ 約22分(22本/日)
- 新千歳空港駅～ 約50分(26本/日)



〒006-8585 北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1
入試広報センター ☎ 0120-248-059
TEL: 011-688-2382(直通) FAX: 011-688-2392
HP: www.hus.ac.jp/nyushi/

+Professional

ヒューマンティ、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力、マネジメント能力といった基盤能力を基に、専門性を身につけている人材が社会に求められています。したがって、単に「Professional」だけではなく、後付けの「Professional+」でもない、基盤能力を前提とする「+Professional」を育成する。すべての設置校に共通する、わたしたちのスローガンです。

学部 北海道科学大学
北海道薬科大学
北海道薬科大学附属薬局
北海道科学大学高等学校
北海道自動車学校

(資料4) 学生確保に向けた具体的な取組内容

学生確保に向けた具体的な取組内容

1 入学案内書等の印刷物

北海道薬科大学と統合し新学部を設置することの概略を紹介するパンフレット、学部・学科の教育内容や本学の学生支援体制等を紹介する入学案内書及び受験ガイド等の広報資料を作成し、高等学校教員説明会、各種相談会等の参加者に配付するとともに、WEB等各種媒体による資料請求者へ郵送する。

2 各種媒体

これまで継続して参画している進学雑誌、WEB企画等において広報活動に加え、薬学系関連企画等へ新規に参画するとともに、設置認可後はTVCM、新聞広告を利用し、新設学部を周知する。

3 高等学校訪問

平成29年3月から、北海道薬科大学と統合して新学部を設置することの趣旨等を周知するための高等学校訪問を開始し、6～7月及び設置認可後の9月～10月に実施する。

進学相談会での面談者や各種媒体・ホームページ等による資料請求者が在籍する高等学校、アンケート調査により志願者が見込まれる高等学校に対して、今後の予定についての継続的な情報提供を行う。なお、高等学校訪問において、新設学部への志願者が多く見込まれる高校に対しては、北海道科学大学と北海道薬科大学の教員が訪問し、志願予定者及び進路指導部教員に説明を行うなど、継続的なアプローチを行う。

設置認可後には入学試験制度の案内と出願関係書類の配付、スカラシップ制度の紹介を含めた関係資料を北海道・東北地区の高等学校訪問時に配付し、志願者の確保に努める。

4 オープンキャンパス

6月・8月に開催するオープンキャンパスでは、新設学部の教育内容、大学施設の紹介を説明するとともに、薬剤師体験実習として、無菌製剤（注射剤づくり）、軟膏剤づくり、バイタルサイン測定等を実施し、薬剤師を体感してもらうことを予定している。

NETオープンキャンパスは7月、9月、11月、12月に開催し、設置認可後の11月に開催するNETオープンキャンパスでは、新設学部の特化したものとし、既存学部と連携し、薬剤師を志望する志願者にチーム医療に関して、本学の今後の展望も説明する。

5 進学相談会・高等学校校内ガイダンス

年間を通して、業者が主催する進学相談会、高等学校校内ガイダンスに参加し、新設学部について広報する。

各相談会において、既存の学部・学科への希望者に対応する教職員とは別に、新設学部への進学希望者に対応するため、北海道薬科大学の教職員を派遣し詳細な説明を行う。

参加者から提出されたアンケートに基づき、新設学部への希望者に対して、今後のオープンキャンパス等のイベント開催の案内及び設置認可申請の進捗状況の情報提供を行い、設置認可後は各種案内書、募集要項等を送付する。

高等学校等からの依頼による校内ガイダンス及び出前講義・模擬講義等については、本学を進学先に検討している生徒がいることによる依頼が多いことから積極的に参加する。

6 大学訪問

希望者に対して学校見学・個別相談を随時受け付け、対応する。

7 高等学校教員等説明会

設置認可後の10月頃には入試制度等の説明会を北海道地区（札幌・旭川・函館・帯広・釧路・北見）及び東北地区（青森・盛岡・秋田）の計9会場にて開催する予定であり、開催案内を北海道・東北地区全域の高等学校に送付する。

8 同窓会の定例行事（幹事会・総会等）における新設学部の説明及び広報活動

北海道科学大学、北海道薬科大学それぞれの同窓会において、新設学部の説明を行う。

9 その他

設置認可後は、前項に掲げた取り組みをさらに拡大し、学生募集に関する情報提供を積極的に行う。入試内容をはじめとする募集要項を、ホームページや各種サイト、各媒体等で広く告知する。また、潜在志願者（オープンキャンパス参加者及び資料請求者）に対して募集要項等を送付するとともに、高等学校訪問を行い、高等学校進路指導教員等への周知を行う。

入試については、推薦入試、一般入試、大学入試センター試験利用入試等を実施する予定であり、大学教職員が一丸となって学生確保に努める。

(資料5) 関係団体の要望書

- ・ 一般社団法人 北海道薬剤師会
- ・ 北海道病院薬剤師会

別添資料として一般社団法人北海道薬剤師会と北海道病院薬剤師会の要望書2枚を添付した。

(資料6) 現在の北海道薬科大学における
過去5年間の就職状況

現在の北海道薬科大学における過去5年間の就職状況

H23～H27年度の求人件数と就職率を下表に示す。

	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
卒業生数	145	194	171	205	174
就職希望者数	135	141	106	86	109
就職者数	134	139	106	84	109
就職率	99.3%	98.6%	100.0%	97.7%	100.0%
求人件数	727	697	730	716	715
求人人数	2287	2348	2447	2219	2119
求人倍率	16.9	16.7	23.1	25.8	19.4

(資料7) 薬学部人材需要調査(事業所) 集計表

- ・ 薬学部人材需要調査(事業所) 集計表
- ・ 北海道科学大学薬学部薬学科
(仮称、設置構想中) に関するアンケート
- ・ 薬学部薬学科概要説明資料

薬学部人材需要調査(事業所)集計表

このアンケートは北海道科学大学のアンケート調査項目のうち、採用意向に関連した質問の一部を抜粋したものである。

Q9.貴社・貴団体(ご回答者様)は、北海道科学大学 薬学部 薬学科(仮称、設置構想中)は日本の社会にとって必要だと思いますか。現時点でのあなたご自身のお考えに近い方の番号に○をつけてください。

評価	有効回答件数	必要だと思う	必要だと思わない	無回答	調査数
実数	372	361	11	9	381
%	100.0	97.0	3.0	—	—

Q10.貴社・貴団体(ご回答者様)は、北海道科学大学 薬学部 薬学科(仮称、設置構想中)を卒業した学生を採用したいと思えますか。現時点でのあなたご自身のお考えに近い方の番号に○をつけてください。

評価	有効回答件数	採用したいと思	採用したくないと思	無回答	調査数
実数	374	367	7	7	381
%	100.0	98.1	1.9	—	—

「薬学部 薬学科」卒業生に対する採用意向<属性別>

属性	回答件数	病院	診療所	薬局・ドラッグストア	製薬業	医療品卸業	CRO・SMO (医薬品開発業務)	官公庁などの機関	その他
実数	367	160	1	166	17	2	6	5	10

Q11.Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。採用を考える場合、毎年、何名程度の採用を想定されますか。現時点であなたご自身のお考えに近い方の番号に○をつけてください。

※毎年採用想定人数・計「4名以上」=4名、「人数未確定」=1名を代入し合計値を算出

採用予定者数	調査数	1名	2名	3名	4名以上	人数は未確定	無回答	毎年の採用想定人数(名)※
実数	367	86	71	27	45	138	0	627
%	100.0	23.4	19.3	7.4	12.3	37.6	—	

北海道科学大学 薬学部 薬学科(仮称、設置構想中)に関するアンケート

北海道科学大学では、平成30年(2018年)4月より、「薬学部 薬学科」(仮称)を新設することを構想しています。

※ 北海道薬科大学の現在の教育内容を継承し、北海道科学大学と統合することで新たに北海道科学大学「薬学部 薬学科」(仮称、設置構想中)になります。

このアンケートは、人事採用ご担当者の皆様から意見をお伺いし、教育内容をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ アンケートや別添の資料(リーフレット)に記載されている北海道科学大学に関する事項は、すべて予定であり内容は変わる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をご回答ください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ← (該当に○)

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 病院 | 2. 診療所 |
| 3. 薬局・ドラッグストア | 4. 製薬業 |
| 5. 医療品卸業 | 6. CRO・SMO(医薬品開発業務) |
| 7. 官公庁などの公的機関 | 8. その他(具体的に:) |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員・職員数)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|------------------|--------------------|----------------|
| 1. 50名未満 | 2. 50名～100名未満 | 3. 100名～500名未満 |
| 4. 500名～1,000名未満 | 5. 1,000名～5,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員・職員の採用数について、お教えてください。

過去3か年 平均

名程度

次のページへ続く→

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|--------|-----------|--------|
| 1. 増やす | 2. 昨年度並み | 3. 減らす |
| 4. 未定 | 5. 採用予定なし | |

Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学問を学んだ人物を採用したいとお考えですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 薬学 | 2. 医・歯学 |
| 3. 看護学 | 4. リハビリテーション学(理学療法学など) |
| 5. 医療技術学(診療放射線学など) | 6. 保健学、体育・健康科学 |
| 7. 工学 | 8. その他理系 |
| 9. 社会学 | 10. その他文系 |
| 11. 学部や学問系統にはこだわらない | |

北海道科学大学では、平成30年(2018年)4月に、
新しく「薬学部 薬学科」(仮称)を設置することを構想しています。

※ここからは、アンケートに同封している資料(リーフレット)をご覧ください※

Q8. 北海道科学大学 薬学部 薬学科(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。

貴社・貴団体(ご回答者)にとって、それぞれの特色はどの程度魅力に感じますか。

(それぞれ、あてはまる番号に○をつけてください。)

			とても 魅力を 感じる	ある程度 魅力を 感じる	あまり 魅力を 感じない	まったく 魅力を 感じない
例.	〇〇を養成します。	→	1	2	3	4
A.	地域社会の健康を支える薬剤師の養成 患者のQOL向上・改善のための「ファーマシューティカル・ケア」を実践でき、地域社会の健康を支える薬剤師を養成します。	→	1	2	3	4
B.	しっかりとした基礎固め 1年次に化学、生物、物理、数学などの基礎科目について、高等学校で未履修の学生や苦手としている学生を対象に補習を行い、基礎となる知識をしっかりと身につけます。	→	1	2	3	4
C.	実務に強い教員が充実 実務に直結した教育を幅広く行うため、薬剤師としての実務経験を持つ教員が指導します。教員が現場で得た生きた知識・経験を、講義や実習を通して学びます。	→	1	2	3	4
D.	実践型のカリキュラム 知識・技能・態度の教育を相互に関連づけたカリキュラムで、実践的能力を高めます。これからの薬剤師に求められる問題発掘・解決能力を身につけた人材を養成します。	→	1	2	3	4
E.	高度で実践的な専門教育のための学修施設・設備 模擬薬局やシミュレーター室、無菌注射剤調製室など、高い実践力を養成する実習室がそろっています。	→	1	2	3	4

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、

北海道科学大学 薬学部 薬学科(仮称、設置構想中)は日本の社会にとって必要だと思いますか。
現時点でのあなたご自身のお考えに近い方の番号に○をつけてください。(1つだけ)

1. 必要だと思う 2. 必要だと思わない

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)は、

北海道科学大学 薬学部 薬学科(仮称、設置構想中)を卒業した学生を採用したいと思いますか。
現時点でのあなたご自身のお考えに近い方の番号に○をつけてください。(1つだけ)

1. 採用したいと思う 2. 採用したいと思わない

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用を考える場合、毎年、何名程度の採用を想定されますか。

現時点でのあなたご自身のお考えにあてはまる番号に○をつけてください。(1つだけ)

1. 1名 2. 2名 3. 3名 4. 4名以上 5. 人数は未確定

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～



北海道科学大学
+Professional



©KAZUMA MORINO

北海道科学大学 薬学部

薬学科〈仮称〉

入学定員

180名（予定）

2018年4月開設予定（設置構想中）

本学部・学科の設置構想は全て予定であり、今後、変更になる可能性があります。



北海道科学大学
北海道科学大学短期大学部
+Professional

北海道科学大学は2018年4月、北海道薬科大学と統合し 「薬学部薬学科〈仮称〉」の新設を構想しています。

高齢化などで社会構造が激変する現代、薬剤師は地域ぐるみの医療を担う重要な存在です。

本学では、実学系総合大学としての幅広い教育体制構築と、より一層の教育環境の充実のため

同一法人設置校である北海道薬科大学と統合し、新たに「薬学部薬学科〈仮称〉」の開設を構想中です。

「薬学部薬学科〈仮称〉」では、北海道薬科大学の伝統と実績を生かし、地域社会の健康を支える薬剤師の養成を図ります。

これにより本学は、医療と工学、医療と社会科学の連携を強化するとともに、専門性と総合的な視点を生かして社会に貢献する人材のさらなる育成をめざします。



薬学科の主なカリキュラム

北海道薬科大学の教育課程を継承し、薬剤師養成のために国が定める薬学教育モデル・コアカリキュラムに加え、本学独自の科目を開設し、薬剤師としての実践力をより高めます。

1年次【基礎】

医療人になるための 基礎固めを行う

- 薬学生入門
- 情報処理法
- 薬学概論
- 早期臨床体験実習
- 薬学計算I・II
- 生化学I・II
- 有機化学I
- 立体構造化学
- 機能形態学I・II
- 無機化学
- 薬学基礎実習I
- 英語I・II
- 基礎数学
- 基礎物理学
- 基礎分析法
- 自然科学概論

2年次【専門基礎】

薬剤師をめざすために 必要な基礎知識を学ぶ

- 医療倫理学
- 介護福祉体験実習
- 生化学III～V
- 分子生物学・遺伝子工学
- 薬品分析化学
- 機器分析学I・II
- 有機化学II～IV
- 機能形態学III・IV
- 免疫学
- 薬学基礎実習II
- 食品衛生学
- 生物薬剤学I・II
- 医療英語I・II

地域社会の健康を、 薬学の視点から支える人材を 育成します。

患者さんのQOL*向上・改善のための「ファーマシューティカル・ケア」を実践できる薬剤師の養成が、本学部の教育理念です。薬剤師の使命は、一人ひとりの患者さんの役に立つこと、そして地域の健康を支える医療人となることです。その実現のため、将来の医療を見据えた独自性あるカリキュラムに基づき、薬学の視点から判断し行動できる薬剤師を育てます。

*QOLとは Quality Of Life の略で、日本語では「生活の質」と訳される。

修業年限

6年

学位

学士(薬学)

取得可能な資格(予定)

薬剤師国家試験受験資格

学部 の 特色

1 しっかりとした 基礎固め

本格的な薬学の学びが始まる前に、1年次に化学、生物、物理、数学などの基礎科目について、高等学校で未履修の学生や苦手としている学生を対象に補習を行い、知識の基礎固めをサポートします。

2 実務に強い 教員が充実

実務に直結した教育を幅広く行うため、薬剤師としての実務経験を持つ17名の臨床系教員を配置する予定です。学生は、教員が現場で得た生きた知識・経験を、講義や実習を通して学ぶことができます。

3 実践型の カリキュラム

知識・技能・態度の教育を相互に関連づけたカリキュラムで、実践的能力を高めます。このカリキュラムで6年間学ぶことにより、これからの薬剤師に求められる問題発掘・解決能力を身につけます。

卒業後の 進路例

病院

医師・看護師などと連携するチーム医療を通じて、治療に貢献します。



薬局

ドラッグストア

身近な薬の専門家として、地域住民の健康をサポートします。



製薬企業

医療品卸

CRO(開発業務受託機関)

医療現場への医薬品情報の提供や、新薬開発に関わる業務があります。



大学院 薬学研究科

(設置構想中)

医療薬学・臨床薬学の研究を深め、地域医療の発展に寄与します。



公務員

麻薬取締官や保健所、科学捜査研究所などで専門知識を生かします。



薬の適正使用に 必要な基礎知識を学ぶ

- 毒性学I・II
- 公衆衛生学I・II
- 環境科学I・II
- 衛生・医療薬学実習
- 薬物動態学I・II
- 製剤学I・II
- 薬理・医薬化学概論
- 薬と疾病
- 臨床薬学I～III
- 臨床薬学実習I
- 薬学英语
- サプリメント概論
- 薬局管理学
- 社会保障論
- 医療マネジメント概論

4年次【臨床への基礎】

臨床での薬剤師業務に 直結する知識を習得する

- 地域医療薬学
- 薬事関連法制論I・II
- 薬と疾病
- 栄養療法
- 臨床推論
- 漢方医薬学
- 臨床薬学実習II～V
- 卒業研究
- 総合演習I

5年次【実務実習】

臨床の現場を体験する 病院・薬局実習が開始

- エデュケーションスキル
- 実務実習
- 卒業研究

6年次【総仕上げ】

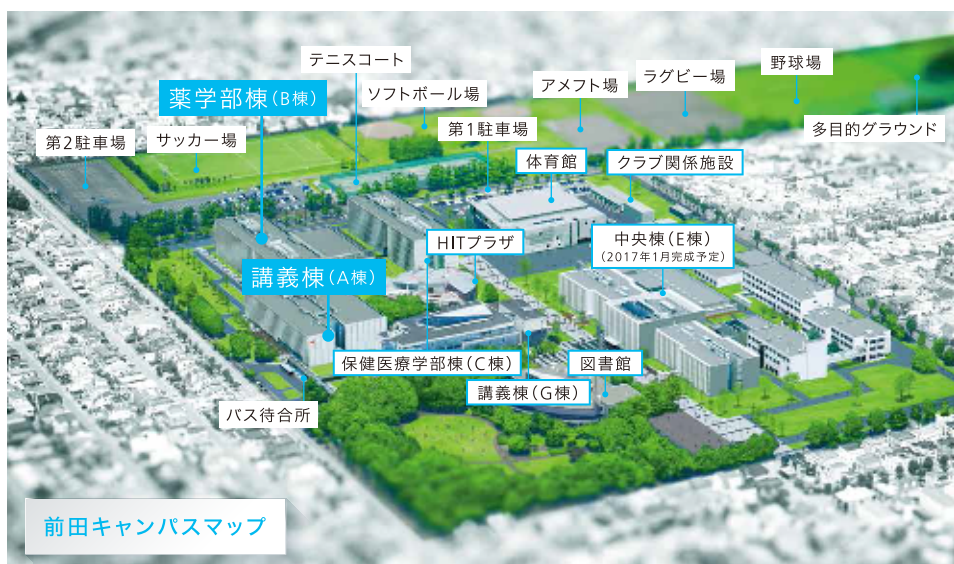
問題発掘・解決能力の 高い薬剤師をめざす

- 臨床薬学総論
- アドバンスト演習
- 卒業研究
- 総合演習II

※薬学部薬学科(仮称)の設置構想は全て予定であり、今後、変更になる可能性があります。

5,000人規模の学生が集う、新しく先進的なキャンパスです。

大学の最寄り駅、JR手稲駅からは札幌駅まで快速で約10分です。通学しやすく自然豊かなキャンパスには、2014年に完成した講義棟(A棟)・薬学部棟(B棟)をはじめ、図書館や体育館、食堂・喫茶コーナー、学生用駐車場など、学生生活を有意義かつ快適に過ごせるさまざまな施設がそろっています。また、他学部のたくさんの学生と交流し、情報交換ができることも、総合大学ならではの魅力。新しい出会いが待っているキャンパスです。



[2015～2020年の完成予想図] ※計画中のため、変更する場合があります。

2014年に完成した新しい校舎には、時代に即した薬剤師を養成する高度で実践的な専門教育のための、質の高い学修施設・設備が充実しています。



講義棟[A棟]

講義室のほか、学生食堂やコンビニエンスストア、ATMなど、快適な学生生活を支える施設も充実しています。



薬学部棟[B棟]

模擬薬局やシミュレーター室、無菌注射剤調製室など、高い実践力を養成する実習室がそろっています。



学習室(ラーニング・commons)

自由に利用できる学習室と、4～6年生用のセミナー室があり、自発的な学修姿勢の向上をサポートします。



模擬薬局

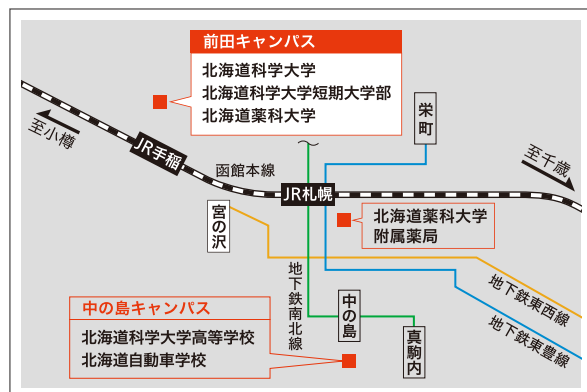
調剤薬局の店舗をリアルに体感できる場です。調剤業務や服薬指導などの統合的な業務を、効果的に学べます。

学費について

初年度学費納付金(予定)

入学金	200,000円	授業料	1,500,000円 ※授業料には実習費が含まれています。	年 額	1,700,000円
-----	----------	-----	-------------------------------	-----	------------

※学費は予定であり、今後変更になる場合があります。



JR手稲駅から

- バス 約9分(北口、JRバス)
- JRバス 科学大学線【循環手48】
- JRバス 明日風線【手85】
- タクシー 約5分
- 徒歩 約25分

地下鉄宮の沢駅から

- バス 約25分(JRバス)
- JRバス 新発寒線【宮79・宮79-1】

札幌近郊からJRでのアクセス

- 近郊駅からJR手稲駅までの所要時間(快速)
- 札幌駅～ 約10分(44本/日)
- 小樽駅～ 約22分(22本/日)
- 新千歳空港駅～ 約50分(26本/日)



〒006-8585 北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1
入試広報センター ☎ 0120-248-059
TEL: 011-688-2382(直通) FAX: 011-688-2392
HP: www.hus.ac.jp/nyushi/

+Professional

ヒューマンティ、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力、マネジメント能力といった基盤能力を基に、専門性を身につけている人材が社会に求められています。したがって、単に「Professional」だけではなく、後付けの「Professional+」でもない、基盤能力を前提とする「+Professional」を育成する。すべての設置校に共通する、わたしたちのスローガンです。

学部 北海道科学大学
北海道薬科大学
北海道薬科大学附属薬局
北海道科学大学高等学校
北海道自動車学校